



A Global Supplier for Global Society

2021年3月期第2四半期 決算説明会

2020年11月13日

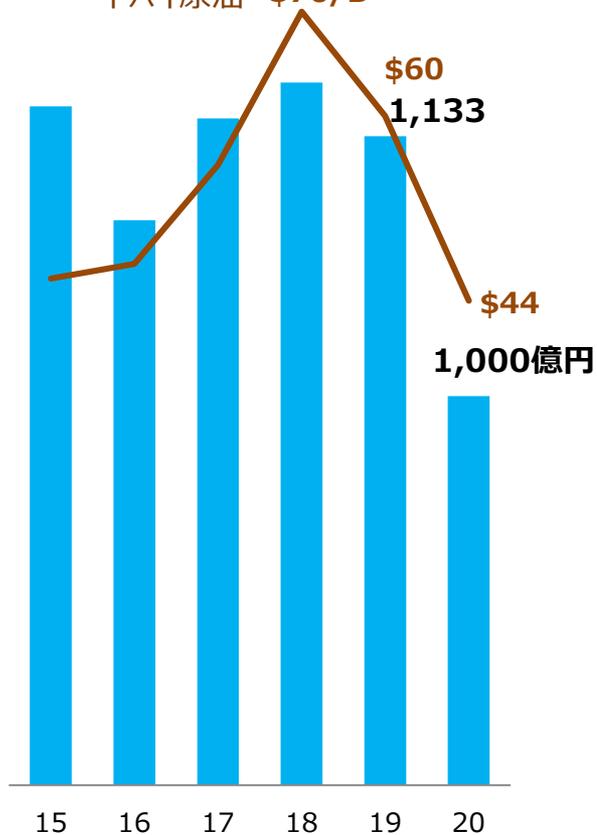
Deliver with
WOW!

1. **2021年3月期第2四半期決算概要（2020年度上期）**
2. 2021年3月期決算見通し（2020年度見通し）
3. 2021年3月期第2四半期決算補足（2020年度上期補足）
4. 4つの成長エンジン
5. サステナビリティ経営

Growth

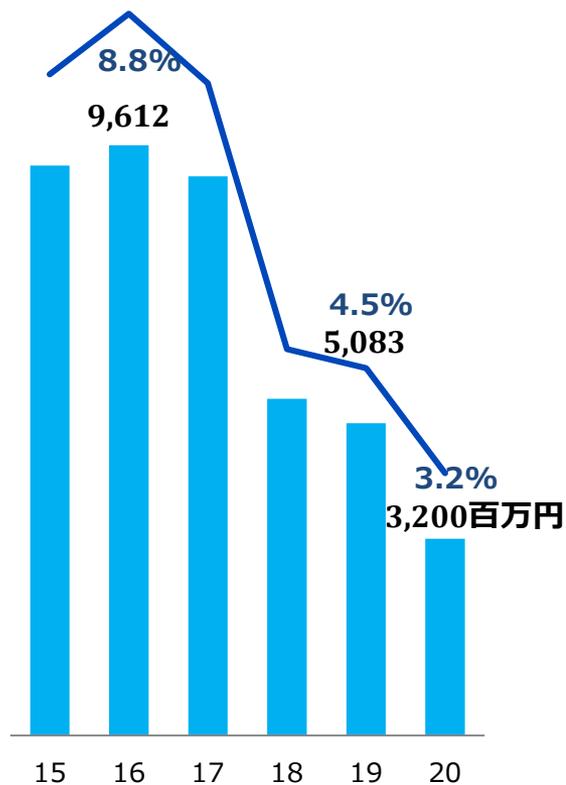
売上高

ドバイ原油 \$70/B



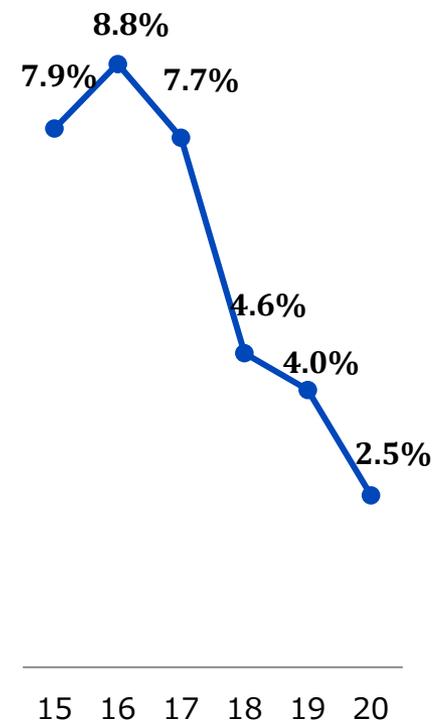
Margin

営業利益・営業利益率



Return

総資産経常利益率



項目 (単位：百万円)	2019年度上期 実績	2020年度上期 公表 (2020/7/31)	2020年度上期 実績	前年 同期比	公表比
売上高	56,308	48,600	48,080	△14.6%	△1.1%
営業利益	2,474	1,200	1,284	△48.1%	+7.0%
経常利益	2,474	1,200	1,268	△48.7%	+5.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,917	800	908	△52.6%	+13.5%

- 為替：20年度上期108.2円/US\$ 119.4円/€ (19年度上期 110.0円/US\$ 124.1円/€)
- 原油価格(ドバイ)：20年度上期US\$37.1/バーレル (19年度上期 US\$64.2/バーレル)
- 世界経済：新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により急激に減速。回復基調は緩やか。感染症の収束時期が見通せず、先行き不透明な状況。
- 売上高：世界的な経済活動の制限に伴う需要低下の影響により、前年同期比14.6%減
- 営業利益：需要低下や都市封鎖に伴う生産活動への影響などから、前年同期比48.1%減

項目 (単位：百万円)	2019年度上期 実績	2020年度上期 実績	前年同期比
売上高	19,448	18,339	△5.7%
営業利益	1,022	1,060	+3.7%

需要減により売上減、生産合理化による固定費の削減などで増益

食品包材・容器



「スチレンペーパー」
「ミラボード」

- 食品トレー向け分野は販売増加
- 広告宣伝用ディスプレイ材の販売低調
- 売上は前年同期並み

産業用包装材



「ミラマット」
「キャプロン」
「Pボード」

- 高付加価値製品の中国向け販売は増加
- 汎用製品の販売は低調
- 売上は減少

住宅用断熱材・土木資材



「ミラフォーム」

- 建築分野向けは住宅着工件数減少に伴う需要への影響により低調
- 土木分野向けの販売は好調
- 売上は前年同期並み

項目 (単位：百万円)	2019年度上期 実績	2020年度上期 実績	前年同期比
売上高	33,987	27,440	△19.3%
営業利益	1,945	716	△63.1%

自動車分野の需要減少で売上減、販売減少や生産活動の制限などにより減益

自動車部品・家電緩衝材・グラウンド基礎材



「ピーブロック」
英名「ARPRO」
「エレンポールNEO」



- 感染症拡大の影響による都市封鎖や自動車メーカーにおける工場稼働停止の影響などにより、販売数量及び売上は減少
- 北米では敷石下地材「Paver Base」が好調
- 台湾では緩衝包装材が好調

発泡性ポリスチレン・ハイブリッド成形品



「スチロディア」
「ヒートポールGR」
「クリアポール」
「スーパーブロー」

- 「スチロディア」水産・農業分野での需要減少などにより売上減少
- 「スーパーブロー」需要減少により売上減少

項目 (単位：百万円)	2019年度上期 実績	2020年度上期 実績	前年同期比
売上高	2,872	2,300	△19.9%
営業利益	46	1	△97.6%

国内の販売減少により減収減益

国内一般包材

- 自動車部品関連等の販売減で売上減少



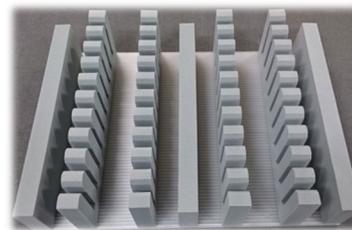
自動車部品トレイ



情報家電緩衝材

中国一般包材

- 各種部品関連の需要が低調で売上減少



自動車部品搬送材



光学部品緩衝材

1. 2021年3月期第2四半期決算概要（2020年度上期）
- 2. 2021年3月期決算見通し（2020年度見通し）**
3. 2021年3月期第2四半期決算補足（2020年度上期補足）
4. 4つの成長エンジン
5. サステナビリティ経営

項目 (単位：百万円)	2019年度	2020年度			前年比
	通期実績	上期実績	下期見通し	通期見通し (公表値)	
売上高	113,375	48,080	51,920	100,000	△11.8%
営業利益	5,083	1,284	1,916	3,200	△37.1%
経常利益	5,210	1,268	1,932	3,200	△38.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,638	908	1,292	2,200	△39.5%

- 為替レート：米ドル 106.7円/US\$（上期108.2円/US\$ 下期105円/US\$）
ユーロ 122.1円/€（上期119.4円/€ 下期125円/€）
- 原油価格(ドバイ)：US\$44/バーレル（上期US\$37.1/バーレル 下期US\$50/バーレル）
- 配当：1株当たりの配当金（予想）年間 50円（中間25円、期末25円（予想））

項目 (単位：百万円)	2019年度	2020年度			前年比
	通期実績	上期実績	下期見通し	通期見通し	
売上高	39,795	18,339	18,761	37,100	△6.8%
営業利益	2,293	1,060	740	1,800	△21.5%

産業資材は新市場・新用途開発を推進、断熱材需要は緩やかに回復

食品包材・容器



「耐熱PSP」 「ミラボード」

- 食品包材は、スーパーマーケット・テイクアウト向け需要は依然と好調
- 広告宣伝用ディスプレイ材展示会等の中止により需要は減少

産業用包装材



「ミラマット」 「キャプロン」 「Pボード」

- 高付加価値製品の販売は堅調も一般包材は低調
- 感染症予防対策製品として、デスクウォールを上市

住宅用断熱材・土木資材



「ミラフォーム」 「Jウォールブロック」

- 建築・住宅分野は低調に推移すると予測
- 土木分野向けは好調に推移する見通し

項目 (単位：百万円)	2019年度	2020年度		前年比	
	通期実績	上期実績	下期見通し		通期見通し
売上高	67,771	27,440	30,460	57,900	△14.6%
営業利益	3,783	716	1,684	2,400	△36.6%

EPP 需要回復傾向も不透明感高まる、EPS 需要は底堅いが水産分野で苦戦

自動車部品・家電緩衝材・スポーツシューズ



「ピーブロック」



「エレンポールNEO」

- 各地域ともに第3四半期は回復基調に転じている
- 欧州・北米では感染症が再拡大しており不透明感が高まっている状況

発泡性ポリスチレン・ハイブリッド成形品



「スチロディア」



「クリアポール」



「ヒートポールGR」

- 第3、第4四半期は前年並みの需要と予測
- スプレッドの維持

12 2020年度販売数量予測（国内）

COVID-19の影響

JSP Corporation

A Global Supplier for Global Society

前年同期比 ○：95%以上 ▲75~95% ■ 75%以下

事業	主な製品	2020年度実績・見通し			
		Q1	Q2	Q3	Q4
生活資材	スチレンペーパー、ミラボード	○	○	○	○
産業資材	ミラマット	▲	▲	▲	▲
建築土木資材	ミラフォーム、Jウォールブロック	▲	○	▲	▲
高機能材	ピーブロック	■	▲	○	○
EPS	スチロダイア	○	○	○	○

- 生活資材は、前年度を上回る見込みです。
- 産業資材・建築土木資材製品の需要は、回復傾向にあるものの完全回復には至らない見通し。
- 国内ピーブロックは、自動車販売が例年に近い水準に戻ると想定しており、回復傾向の見通し。
- EPSは、需要は底堅いものの水産分野で苦戦。

13 2020年度販売数量予測（海外）

COVID-19の影響

JSP Corporation

A Global Supplier for Global Society

前年同期比 ○：95%以上 ▲75~95% ■ 75%以下

地域	主な製品	2020年度実績・見通し			
		Q1	Q2	Q3	Q4
北米	ピーブロック	○	■	▲	○
南米	ピーブロック	○	■	▲	■
欧州	ピーブロック	○	■	○	■
シンガポール	ピーブロック	○	■	▲	○
中国	ピーブロック	■	○	○	▲
韓国	ピーブロック	■	■	■	○
台湾	ピーブロック	○	○	○	○

□ 北米、南米、欧州では、感染者が拡大しており、不透明感が高まっている状況。現時点において、JSPの製造部門、サプライチェーンに問題は無く通常稼働しております。

1. 2021年3月期第2四半期決算概要（2020年度上期）
2. 2021年3月期決算見通し（2020年度見通し）
- 3. 2021年3月期第2四半期決算補足（2020年度上期補足）**
4. 4つの成長エンジン
5. サステナビリティ経営

(%は表示は対前期増減率)

年度 (単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
2020年度上期	48,080 (△14.6%)	1,284 (△48.1%)	1,268 (△48.7%)	908 (△52.6%)
2019年度上期	56,308 (△2.0%)	2,474 (△11.7%)	2,474 (△17.5%)	1,917 (△18.4%)

包括利益：2020年度上期 △514百万円 2019年度上期 548百万円

年度	1株当たり 四半期純利益	売上高 営業利益率
2020年度上期	30円47銭	2.7%
2019年度上期	64円32銭	4.4%

【主要な日本円への換算レート(1~6月)】

通貨	US\$	€	RMB
2020年度 上期	108.2	119.4	15.3
2019年度 上期	110.0	124.1	16.2
前期比	98.4%	96.2%	94.3%

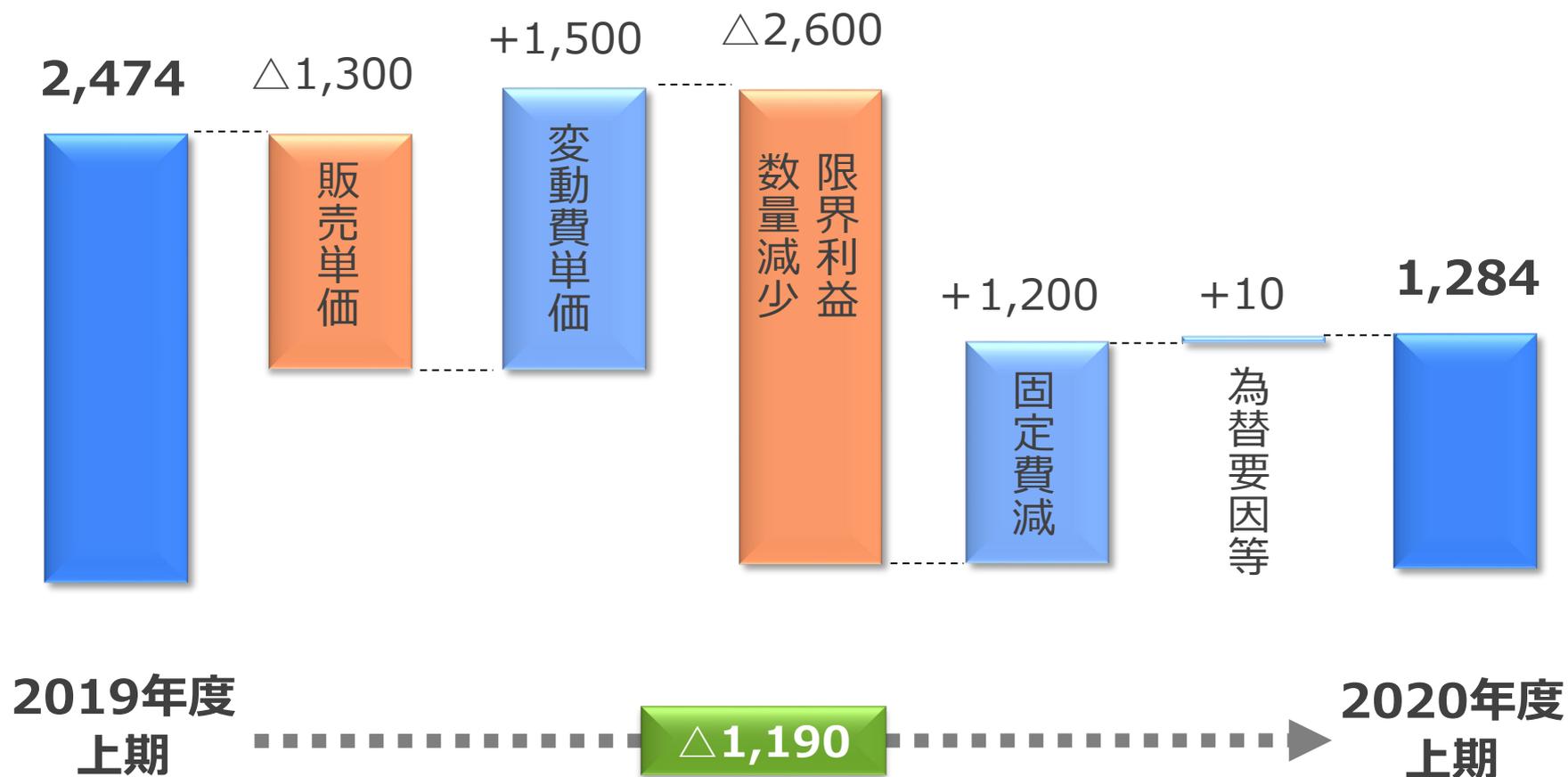
営業利益の増減要因

2020年度上期補足

JSP Corporation

A Global Supplier for Global Society

(単位：百万円)



利益差異は、2019年度実績の為替レートを用いて計算

17 営業外損益・特別損益

2020年度上期補足

JSP Corporation

A Global Supplier for Global Society

営業外損益

科目 (単位：百万円)	2019年度 上期	2020年度 上期
受取利息	114	88
補助金	26	97
その他	101	109
営業外収益合計	242	295
支払利息	99	91
為替差損	86	167
その他	56	52
営業外費用合計	242	311

特別損益

科目 (単位：百万円)	2019年度 上期	2020年度 上期
固定資産売却益	10	4
特別利益合計	10	4
固定資産売却損	3	3
固定資産除却損	16	34
特別損失合計	19	38

年度 (単位：百万円)	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株 当 たり 純 資 産
2020年度上期末	126,211	83,389	63.7%	2,697円08銭
2019年度末	128,445	84,646	63.4%	2,729円87銭

(参考) 自己資本 2020年度上期末 80,397百万円
2019年度末 81,375百万円

【主要な日本円への換算レート】

通貨	US\$	€	RMB
2020年6月末	107.7	121.0	15.2
2019年12月末	109.5	122.5	15.7
前期比	98.3%	98.8%	97.1%

科目 (単位：百万円)		2019年度末	2020年度 上期末	増減額
資産の部	流動資産	60,575	59,528	△1,046
	固定資産	67,869	66,682	△1,187
資産合計		128,445	126,211	△2,233
負債の部	流動負債	31,611	29,838	△1,773
	固定負債	12,186	12,983	796
	負債合計	43,798	42,821	△977
純資産の部	株主資本	83,665	83,828	162
	その他包括利益累計額	△2,290	△3,431	△1,140
	非支配株主持分	3,270	2,992	△278
	純資産合計	84,646	83,389	△1,256
負債純資産合計		128,445	126,211	△2,233

科目 (単位：百万円)		2019年度末	2020年度 上期末	増減額
株主資本	資本金	10,128	10,128	—
	資本剰余金	13,405	13,405	—
	利益剰余金	61,518	61,681	163
	自己株式	△1,387	△ 1,387	△0
	合計	83,665	83,828	162
その他の包括 利益累計額	その他有価証券評価差額金	268	484	216
	為替換算調整勘定	△3,255	△ 4,630	△1,375
	退職給付に係る調整累計額	696	714	18
	合計	△2,290	△ 3,431	△1,140
非支配株主持分		3,270	2,992	△278
純資産合計		84,646	83,389	△1,256

キャッシュフロー 設備投資額・減価償却費・研究開発費

2020年度上期補足

JSP Corporation
A Global Supplier for Global Society

キャッシュフロー

年度 (単位：百万円)	営業活動による キャッシュフロー	投資活動による キャッシュフロー	財務活動による キャッシュフロー	現金及び現金 同等物の残高
2020年度上期	6,215	△2,245	831	11,991
2019年度上期	4,520	△6,599	287	7,065

設備投資額・減価償却費・研究開発費

年度 (単位：百万円)	設備投資額	減価償却費	研究開発費
2020年度上期	2,728	3,190	1,065
2019年度上期	6,482	3,136	1,153

(注) 設備投資額はキャッシュベースであります。

1. 2021年3月期第2四半期決算概要（2020年度上期）
2. 2021年3月期決算見通し（2020年度見通し）
3. 2021年3月期第2四半期決算補足（2020年度上期補足）
- 4. 4つの成長エンジン**
5. サステナビリティ経営

成長戦略の推進

	自動車部品 	建築住宅断熱材 	FPD関連保護材 	新たな事業領域 
2020年度 目標値	2017年度対比 数量+27%	2017年度対比 数量+18%	2017年度対比 数量+15%	30億円
コロナ禍前の想定	+10%	+15%	+3%	2億円
2020年度 見込み	▲9%	▲3%	▲1%	0.6億円

新技術情報提供システム（NETIS）に登録されました

簡易壁体工法のパイオニアとして、施工性・意匠性・経済性を更に進化させた「J-ウォールブロック」を商品化し、ご好評を頂く中、2020年5月 NETISに登録されました。H鋼が不要、工期短縮・工費削減に貢献します。道路擁壁として多くの実績を積み重ねております。



4つの成長エンジンのひとつである「建築住宅断熱材」に土木資材も含まれております。

1. 2021年3月期第2四半期決算概要（2020年度上期）
2. 2021年3月期決算見通し（2020年度見通し）
3. 2021年3月期第2四半期決算補足（2020年度上期補足）
4. 4つの成長エンジン
- 5. サステナビリティ経営**

ESGへの取り組みを強化します

- JSPの製品自体が環境適合製品であり、製品の特性を活かすことにより社会的課題の解決に貢献していきます。
- 循環型経済システムに対応した会社、環境に配慮し、社会と価値を共有しあえる会社を目指します。
- サステナビリティ経営を推進する部署の設置を準備しています。



リサイクル原料を使用したARPROを欧州生産・販売開始

- 欧州では、循環型経済の実現に向けた取り組みや環境意識が高まっており、また炭酸ガス排出量の削減などの法制化が進んでいます。
- 欧州の自動車メーカーでは、リサイクル原料使用の要求があり、JSPではリサイクルポリプロピレンを用いたARPRO REの採用が始まりました。



製品ライフの終了した
EPPダネッジトレイ



インゴット



リペレット

鹿沼市に感染対策パーテーションを贈呈

- 株式会社JSPは11月5日に、栃木県鹿沼市に、新型コロナウイルスの感染防止製品「JSPデスクウォール」を50枚贈呈致しました。
- 今後も製品の生産だけでなく地域社会など幅広いステークホルダーとの交流を重視し、地域の経済発展や安心安全にも貢献できる活動を継続してまいります。



(ご注意)

本資料の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

株式会社 J S P

お問合せ Tel 03-6212-6306 広報 IR室